

ほたる草

大阪市天王寺区東高津町12-10
 大阪市ボランティア情報センター内
福祉と住環境を考える会「ふくてっく」
 発行責任者 代表：杉浦史郎
 TEL 06-6765-4041
 高齢者や障害者の住環境
 改善を目指すボランティア
 グループです
 ホームページ <http://www.osakacity-vnet.or.jp/link/hukuteku/>



7月定例学習会
 平成13年7月7日(土)
 クリスティンターナショナル
 代表 木村 千尋 氏

* * *

私は出産後にアメリカに渡り、子育てをしながら児童心理学を学びました。そんな中で、人は子供の時に出会った色が、その人格形成に大きく関わっているという事を知ったのです。

世の中には「何か心理学」と呼ばれるものはざっと数えても30余りになりますが、そのそれぞれに色は関与しています。

先頃、池田で大変不幸な事件がありました。私は、子供たちのカウンセラーを務めております。子供たちに絵を描かせて、その題材や描き方、色使いなどが



スウェーデンの福祉施設の実態と色心理効果について

ら、心理を読みとってカウンセリングをして行くのですが、お母さんたちの方がひどくヒステリックになっているケースが度々あります。

さて、色の話をするため一番基本的なこととして、色にはウォームシェイド(暖色系)とクールシェイド(寒色系)があつて、例えば「赤」でも暖色系(黄味をおびた赤)と寒色系(青みをおびた赤)があります。自然界に存在するものは、どれもウォームならウォーム、クールならクールでまっています。バラは葉も花もクール系なのです。服装を選ぶときは、この点をまず気を付けることです。アクセサリーも全体がウォームならゴールドを選び、全体がクールならシルバーを選ぶといいでしょう。

次に、色のもたらす心理学的効果(ピグメント)を分析して説明します。

①無意識の記憶 人にはそ

れぞれの生い立ちによる、カラーヒストリーというものがあつて、これがいわゆる好きな色、きらいな色をつくっています。

②意識上の記憶 例えば、制服のように強制された色は好き嫌いはにして、家に帰ってリラックスしたい時には避ける傾向があります。前述の無意識の記憶と対比して意識上の記憶に根ざした心理です。

③本能的反応 太古の昔から営々とDNAに擦り込まれた人間の反応と言えらるものがあります。例えば緑が心を癒すように。

④文化的連想 冠婚葬祭の礼服のように、社会習慣によつて決まりとなつている色があります。これはしかし、世界共というわけではなく、それぞれの文化とでもいうべきものでしょう。

⑤知覚に与える影響 目の不自由な人がものに触れるだけで、その色を感じる事ができるという事があります。色は光の波長の違いによつて生ずるわけですが、これを感じるのには視覚だけでは足りないようです。実際に、赤い部屋と青い部屋では、同じ室温でも体感温度が3度も違うといわれています。

以上のように、色は様々な人の心理に関わつています。その事を利用して色光線療法(クロマセラピー)というものがドイツから導入されています。光によつて痛みを緩和させ(その部によつて使用する色が異なる)、自然治癒力を高めたりまするものです。他にも赤い光を浴びると血圧が上昇して闘争心が増し、青い光はその逆の効があります。これを利用して、出産前に赤い光、出産後に青い光を浴びさせるといふ例や、スポーツ選手への応用などがあります。

高齢者の居住環境への色計画にも色々な応用が考えられます。緑は、確かに癒してくれる色ですが、自然の緑が一番ですから、自然に内装に使うより、自然な緑を引き立てる工夫が何よりです。豊富な色使い(多色)がアルツハイマー性痴呆に働きかける効が大きいといわれています。

逆に「ホワイトルーム」というものが北欧の高齢者施設にあります。壁も天井も白色で、そこに3度調 chỉnhされたウォーターベッド、そしてビビッドな色のまくら、海の底にいるような音、



「ゆらぐ」色の光…そうしたものが、痴呆老人の心理に強く働きかけて、良い効をもたらすというものです。ただ、注意しなければいけないのは、日本には日本の伝統と風土があり、安易に物まねをしてはいけません。例えば、北欧の施設では黄色い薄手のカーテンを多用していますが、これは彼の地の長い冬、短い春…、ですから人々が太陽光を希求している現れなのです。そのまま日本に適用すれば、お年寄りが寝不足になつてしまいます。また、日本独特の色(木や土壁)も無視してはいけません。日本風のアレンジという事が大切なのです。

(記 中北 清)

木工教室



キッズプラザ

少しは夏休みの宿題にお手伝い出来たかな?

隔月で参画することになった。



た、キッズプラザ大阪の子ども木工教室の2回目が、8月5日(日)に催されました。近畿地方も連日炎暑が続いている中、子どもたちの博物館であるキッズプラザ大阪では、外気温に比べ館内は冷房がよく効き、寒さを感じる環境の中で、2回に分かれて行われました。参加者は小学校低学年の子どもたち20名ずつ2組で、今回はミニチュアハウス(箱庭園)に挑戦です。薄ベニア板の上に木片を使って街並みを作るというもので、45分程度で自分の理想とする街並みや、家族の絆の家並みと個々の子ども達の創造力でオリジナル品を作成。夏休みの宿題のひとつになったかも知れません。

最初はとまどいもあつたようですが、時間がたつにつれて興味

を持ち、作品づくりに頑張っていました。キッズプラザで隔月に催される木工教室に、子ども達の楽しみが増し、そして「ふくてっく」に刺激を与えてくれると思います。

今回は迷路。今回もキッズプラザスタッフのリーダーが大変お世話になりました。皆さん、お疲れ様でした。

(記 八木 道夫)



西成区木工教室

お母さんと一緒に完成喜びも大きく

8月24日(金) 昨年に引き続き西成区在宅サービスセンター「はぎのさと」で夏休み親子木工教室が開

催されました。この企画に対して、木工部会は7月より準備に入りました。「はぎのさと」に有馬さんと光川で出て「花台」を作る提案をし、次に当日のリーダーを決めたり、材料の準備等に当たりました。

その後大阪市ボランティア情報センターの岩本さんより、大阪市高齢者総合相談情報センター「8181」が、ふくてっくの木工の活動状況を取材したいという連絡が入り、当日を迎えたのです。

今回のリーダーは平松さん。少ししんどそうでしたが、きつちりと指導していただきました。他のスタッフは有馬さん、川崎さん、杉浦さん、搬入・搬出・材料の手配をした新開さん、そして光川は一生懸命手伝いまし



小学校1・2年の子ども5人は説明に理解できない表

定例会のお知らせ

10月

日時 10月6日(土) 午後1時30分〜5時

場所 大阪市社会福祉センター3階会議室(予定)

内容 学習会「高齢者の排尿障害について」

前立腺肥大症を中心に 講師 増田 宗義 氏

陸上自衛隊中部地方総監部医務官

2月

日時 2月10日(土) 午後1時30分〜5時

場所 大阪市社会福祉センター3階会議室(予定)

内容 学習会「高齢者の食事」

講師 原 まさみ 氏 大隈病院管理栄養士

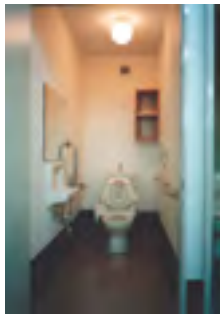


情を示しながらも、最後までお母さんと一緒に完成させ非常に喜んでおり、スタッフ一同心から「やつてよかった」と思える一瞬でした。

世の中不況でも明日を信じて明るく生きていきましよう。自分の弱さに打ち勝つ力をこの小学生の子ども時代にも身に付けさせたいと思つた日でもありました。本当にありがとうございました。

(記 光川 隼子)

前の半分と、かなり手狭になってしまいました。出入口は自動ドアで、キーで開閉するのですが、キーが小さくてメンバーの人には使いにくいようです。5キーか3キーで少しでもキーが大きいものにすればよかったです。また、取付け位置がドアに近すぎたので、ドアから90cm程離れた位置につけ替えても



改造前の室内

C 1Fは台所・車イストイレ(大・小2ヶ所)・洗面室の他はワンルームとし、なるべく広い空間をとりたいので、既設の柱・壁をできるだけ撤去しました。その分新たに柱・梁を設けて補強しています。
1Fの屋根は雨もりしていたのと、軽化を兼ねて瓦葺からカラーベストに葺き替えました。
床も撤去し、道路から80cmの高さで土間コンクリート下地、塩ビシート貼とし、スロープを設けました。
2F(6帖+物入)は倉庫にしました。
D 作業所のスペースが移転



(記 鎌田 伊津子)

地域の人たちに親しんでもらえるようにという希望もあり、お披露目パーティーの時には地域の子どもたちで大きいわい。ゲームや和紙作りを楽しそうにチャレンジしていました。
工事担当の関西ハウズイングさんも本当にご苦労様でした。



7月例会・懇談会
例
①知的障害者グループホーム「ほのぼの」の入札が行われ、関西ハイズインクが最低価格を投じ、落札した。(畑)
②数年前に当会で改造工事をしたグループホーム「ライフネットワーク作業所」で、介護者を呼ぶベルの音を識できるように、音色の違うベルを取り付けた。(杉浦)
③本日の講師木村氏は既存アパート2戸を改造して「食」や「おしゃべり」を楽しみながら集えるサロンを創り、NPO法人が運営にあたる構想を披露され、できるだけローコストに実現したいので、ふくてづくに協力してもらいたい、と依頼された。(木村)
④各部の連絡・協議事項
・木工部会 活動報告と今後の予定についての報告。
・グループホーム研究部会 定例会と、コリヤボランティア協会の拠点建設計画への協力活動について報告。
・神社バリアフリー研究部会 会いよいよ大詰めを迎えた出版準備の経過報告。
・奈良手をつなぐ育成会支

接部会 施設計画のコンセプトを説明、部会への積極的な参加を募った。
・福祉住環境コーディネーター研修部会 スキルアップ講座の進捗状況と今後の企画について報告。
・福祉人材開発センター建設支援部会 部会メンバー構成について各部会リーダーに指名要請。
⑤お知らせタイムでは、JIA第3回福祉建築アイデアコンペとシンポジウムの予定。ボランティアアドバイザーの会活動報告。世界のボランティア展の企画説明。知的障害者更生施設への陶板タイルを創る活動構想の説明。全国ノーマライゼーション推進高山会議の案内等。
懇談会(参加者名)
NPO法人格取得に関し、これを契機として、当会のミッション、あるいは組織のあり方を見直す必要性について議論が行われた。
①当会のミッションの基本は「在宅での生活支援」にある。従って、住宅改造は1つの手段であって、それだけが目的ではない。
②住宅改造事業については、本来「予防的住環境整備」にこそ力点を置きたい所であり、介護保険適用案件

はこれにはなじまない場合(手遅れ)が多いのが事実。しかしながら、ニーズがある以上受けて行くべきだ。
③会発当初の、住宅改造に対する理念やすめ方の原則(三一体・受け手本)は7年を経過してかなり変質している。現会則・細則と現実の運用のズレも目立ち始めた。当初の理念や厚き情熱を再度ふりかえる必要もある。一方で介護ビジネスの一元に伴う依頼件数の減少傾向や、現実的に改造を担ってきた会員自身のビジネスとボランティアの兼ね合いの問題、会員間の負担の偏在化など、明かに以前とは異なる環境も否定できない。
④会員の間に、当会への参加意図の相違がある事はむしろ当たり前である。
⑤木工部会は活動も豊富で、会員の技術研修のほか、木工をじて在宅福祉への関与や子ども達の躰など、多様な意義を有している。
⑥コーディネーター養成講座は、人材養成という直接的な社会貢献に加えて、住宅改造に関する先駆的・予防的視点を確立してゆくために欠かせない。
⑦その他の発展事業は、そ

れぞれタイムリーな社会課題に対応して、当会独特の社会貢献として注目を集める活動であり、そのミッション性は申し分ない。加えて、当会に結集した多様な人材の力を結集する場を創り、結として相互の研鑽や自己実現をたして行くものである。
⑧各部門毎に、事業化を明確にすべきだ。
⑨どの部門にしても、「社会貢献」「収益追求」「自己研鑽」の3要素からなりたっている。それぞれの行為がその3要素のどのようなバランスによるものかを検証する事が肝要。活動に対する有償評価も、そのような視点から測るのがよいのではないか。例えば、同じ活動でも無償でいいから学びたいという参加も認めなければならぬように…
⑩NPO法人となるには、執行役員の人事を流動化する事が不可欠。
以上のような議論が展開され、なお時間をかけて吟味すべき事で一致した。
その他、介護ジャーナルから資料提供を求められている住宅改造の失敗事例についても、検討する事とする。
(記 中北 清)

ボランティアと私

畑 俊治

ボランティア(以下V)に関するいろんな人の名言(迷言)をご紹介します。
1 政治こそ究極のVである。(衆議院議員Y氏)
2 Vは石を投げられることを覚悟してやった方がよい。(五木寛之)
3 Vの究極は自分のため。(ぼ(あぼ)M氏)
4 Vは結局自分のためだけでなく、人のために生きていく。(T氏)
5 人の喜びは利害関係のない仲間との交流です。(H)
6 無償Vも有償Vも本来同じで区でできない。(H氏)
ある人は弁当をもらう。ある人はお金をもらう。ある人は喜びをもらう。
7 無償Vでも責任の大きさは金をもらってやる仕事と同じ。(K氏)
8 V団体のリーダーの特性について(ふくてづくは)。多人数の前でも臆せずよくしゃべる。口は軽いが尻は重い。(H)
9 家庭をかえりみずVに熱中、亭主もわが子もほったらかしの人がいる。(H)

⑩ Vとはおせっかいの押し売り……それが何故あかんのか？(S氏)
⑪ あまり真剣にやらない方がよいのかもしれない。真剣にしない人との間で摩擦が生じる。(H)
⑫ Vとは弱者が支援されることではなく、また我々健康者が弱者を支援することでもない。人間の機会の均等をわかち合う、ただそれだけのことである。(あるイギリス人)
⑬ Vとは善意の一方行(親切の押し売り)ではなく、「共に生きる」こと。(H)
⑭ お金をとって何がお金がVの？(S氏)
⑮ 私にとってVとは身銭をきることに。Vとは究極の喜びです。(某デザイナービゼンターのZ氏)
⑯ 日曜日になったらVの奴等がわんさと押しかけてきて、ゆつくり寝てられん……(神戸の震災被災者)
⑰ ぼくの夢は君と一緒にすること。私の夢は地球平和よ。(そして彼女は彼氏にふられました)



住宅改造 事例報告

都島区 N邸
87歳 女性

初期診断 山本尚子
コーディネーター 山本尚子

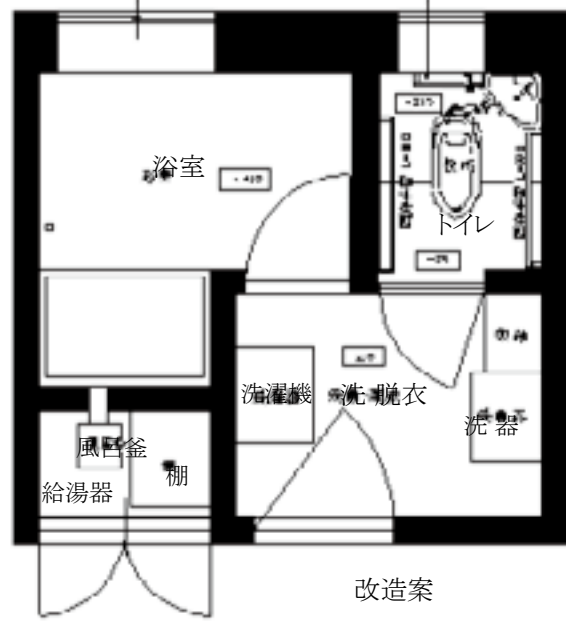
A ご本人に視覚障害(失明)があるため、現況の両用式和式便器(汽車式)ではうまく用が足せないの、洋式便器に取り替えたいとのこと。介護保険を使っ



ての工事を希望。
B 都島商店街入口近くの比較的交 の多いところに建つ、鉄骨造3階建ての住宅に長男夫婦と孫と同居。住居が3階部分で、玄関から道路まではゆるい勾配とはいえない階段を下りなければならぬため、本人は殆ど外出していない。(1階駐車場、2階倉庫)
軽い痴呆症状もあり1日

- A 依頼内容
- B 日常生活と家庭状況
- C 解決方法
- D 改善後の状況と考察

中寝たり起きたりの生活を送っているが、家の中では手すりなどにつかまって自力で移動はできる。入浴はお嫁さんが一緒に入って介助しているとのことだがシャワーが無いため負担が大きい。
C 洋式便器に替えるにあたり便所の奥行きをもう少し広げたいところであったが、狭い洗面衣室に隣接しているため簡単ではない。ドアを外してカーテンで仕



切る方法も提案したが、洗面衣室のドアを開けると直ぐ食堂なので、匂いの問題を懸念された。よって、最も奥行き短い品番のもので対応することにする。
温水洗浄機能付の便座も要望されたので、便器に乗り移る際に手を付く可能性のある事を考慮して、誤作動を避けるため操作盤が壁掛けのものを選んだ。既存の便所に手すりがあったので、改装後に高さ等チェックの上で必要であれば場所を移動させる方針とした。
床はタイル貼りを希望されたが、防水の問題もあるのとよりあえずは「CFシート」を提案する。
浴室のシャワーについては

東住吉区 障害者福祉作業センター「青おに」



介護保険の対象外であるし、希望は無かったが助成金が使えるのであれば一緒に工事をしてみました方が良かったのではないかという提案をした。
給湯器の取り替えと手すりの設置工事の見積りも同時に提出の上で検討してもらったことになった。
D 見積りを提出し返事待ちとなった。一ヶ月後にこちらから電話を入れたところ「給湯器に関して給付制度が使えるらしいので、便所と浴室の両方の工事を考えているが、まだ結論が出せないのもう少し待って

欲しい」とのこと。連絡を入れずからというお返事だったので、暫く様子をみることにした。
2ヶ月程後に、あれから直ぐご本人の調子が悪くなり、入院させたがそのまま帰ら 人となりました、との連絡があった。
高齢者対象の住宅改修工事の現実的な問題に、直接触れたような思いです。快適なお手洗いで過ごさせてあげられなかったのが心残りですが、ご冥福をお祈り致します。
(記 山本尚子)

A 1995年に開所した作業所が2001年3月末で家主との契約期間を終えるので、移転先として近くの木造1部2階建延べ約20坪の民家作業所に改修します。
B 地下鉄谷町線駒川中野駅から歩いて二分足らず、駒川商店街近くの住宅地にあり、和紙染め・便箋・薬書・レターセット・粘土細工のアクセサリー等の自主製品の製作・販売や、自然食品・百円商品の注文取り・配達、パソコンを使っ



ての活動等、様々な作業が行われます。また地域のフェスティバルに出店するゲームやワゴン等、工夫をこらした手作りの作品等、持物もバラエティー豊富。
メンバーの人たちは電動車イスで活動します。

もつとめぐまれない、みじめな人と出会うとそれだけで自分が救われるような気がします。(某V団体代表K氏)
B 俺にとってVとは福祉やノーマライゼーションもへちまも関係ない。任侠道や弱者で困ってる人を助ける、ただそれだけのこと。(H)
B 私達はこれからの愛を訴えつけて人の善意を信じてカンパを募ってがんばっていきます。(Y氏)(目標2億円基金、約1年間で百万円集金。この調子だったらあと200年かかるぞ！)
B Vの人の、全然おもしろくない漫才を聞いてあげることもV。
B (ある特養のおばあさん) B Vは参加することに意味がある。人のためは2の次や。(M氏)
B Vを媒介にして自己実現の充実感を味わえました。アホかせ、俺なんかVなんかせんでも毎日己のやりたい事実現してるわい。
B (ある学生の対話) B 弱者にはやさしいが、健康者にきつい人がいる。(H)
B 俺が被災者のためにチャリティーで歌をうたうのは売名行為です。(泉谷

しげる) B お上御用達の安請け合いの奉仕活動団体になってはいけない。(K氏)
B 社会に関わってほしい。人の役にたつことがしたい。(M氏)
B 若いくせにV。あいつ宇宙人ちゃうか？(ある学生) B 2年前、欧州福祉研修に行つて感じました。個人の尊重、共生が日本のこれからのテーマです。(H)
B 個人の尊重とは個性の違いを認めること。↓単一民族の日本人は無理？(H) B 共生：・言うのは簡単。(H)
B 住宅改修やつたらふくつくと頼んだらよい。仕事は多少じじくさいけどとにかく安い！(大金持なのにVを活用したN氏)
B 仕事以外のいろんな人との出会い、これが最高。(W氏)
B 世の中はIT革命・・・世界とつながっているが、となりの人とながついていないのが現実。(W氏)
B 年いっただ趣味や旅行に、そんな自分のためにやることや。そんなことはダメ。人のためにVをする、それが老けないコツや。(〇〇研代表M氏) B 才) B いろんな人間でも少な

らず愛と善意は持ちそなえている。しかし、それを他人からあまりにしつこく押しつけられると反発したくなるものです。(H)
B 女性ほどかくVをやつてることにステータスをいざくものです。「自分はVをやっているやさしい心の持ち主です。」(T氏)(どうである世の中がよくなければよいのでは)
B V情報誌ほどおもしろくない読み物はありませんね。(H)
B 我が国は行政による福祉が行き届いているため、Vは存在(必要)しません。(スウェーデンストックホルム市の役人)(しかし次の研修先の老人ホームで話し相手になつているVがたくさんいました。)
B なんでもかんでもいたれりつくせりのスウェーデンの老人に自殺者が多い。(テレビ)
B 元来女性は愛やいたわりの心を持ち合わせているのでしょうか？(H)
B Vという日本語(無償奉仕活動)がある限り、日本ではこれ以上Vは発展しない、普及しないと思いません。他にいい言い方はないものでしょうか？(H)
B 将来の日本の福祉をさ

さえるのは国や行政ではなく、V、NPOだと思います。(T氏)
B V団体共の悩みは資金不足。(多数の人)
B Vを売り物に堂々と食つてる奴もいる。(H)
B 街頭カンパで懸命に「愛の手を・・・」と叫んでいる奴、カンパしなかったらバカにしたような目でこっちをにらみつける。あいつら牛井屋でバイトした方が金になつてくれると思うけど・・・(H)
B 昨日は仕事で疲れたので休みました。(ある施設でVで音楽療法をしているピアノの先生)
B 皆先生が来るのを楽しみにしていた。約束を破ることが許せない、あなたは信用できない、もう来てもらわなくて結構です。(施設の指導員)
B Vの定義とは、自ら進んである任務につくこと。(ある学生)
B ワシも自ら進んでヤクザ渡世に足をいれた。(某組幹部)
B うちでは落ちこぼれの人が一生涯懸命Vをやっている。(Y氏)
B アンタは人のためにVをやつてるのではない。全て自分のためにやつてる。あの劇の中の貧しい人を助ける

やさしいヒロイン役はアンタにはミスキャストだ。オレはアンタみたいな奴は大きらい。
(あしたのジョーの中で矢吹ジョーが白木洋子に言ったことば)
B 「ふくし」とはふだんのくらしをしあわせに。(T氏)
B おまえVなんかやるよりもうちよつと自分の足元を固めたらどないや。(Hの友人)
B 男のくせにVなんかやるもんやないぞ。
(ある特養のおじいさん)

やさしいヒロイン役はアンタにはミスキャストだ。オレはアンタみたいな奴は大きらい。
(あしたのジョーの中で矢吹ジョーが白木洋子に言ったことば)
B 「皆で掃除してあのオッサンの仕事とりあげてしまつたらええ・・・」(H)
B 「〇〇させて頂いてます」という言葉はやめまじよ。」「〇〇してやつてる」という考えのうらはらである。
(W氏)



健康ニ講座

痴呆について

次のようなことが気になつたらお医者さまへ行きましょう。

- ・記憶があやふや
- ・同じことを言つたり、聞いたりする。
- ・最近の出来事が思い出せない。
- ・物の名前が出てこなくなつた。
- ・どうもやる気が・・・
- ・今まで好きだった物に對して興味、関心がなくなつた。
- ・服装がだらしくなつた。

痴呆について

・日課をしなくなつた。
・今までできていたの・・・
・職場、家庭内において、今までできていた仕事や作業がこなせなくなつた。
・簡単な計算の間違いが多くなつた。
・性格が変わつた？
・ささいなことでも怒りっぽくなつた。
・以前より疑い深くなつた。
・いま何時か、どこか、いつか、時間や場所の感覚が不確かになつた。
・慣れているところで道に迷つた。